

令和5年 湖西市議会9月定例会

市 長 あ い さ つ

令和5年9月4日

皆様、おはようございます。

本日から令和5年9月 湖西市議会定例会が開催されるにあたり、一言ごあいさつを申し上げます。

9月となりましたが、連日30度を超える猛烈な暑さが続いております。今年は、全国各地で真夏日の連続日数や、年間猛暑日日数の記録を更新しており、今年の夏の暑さが相当なものであったことが伺えます。

近年、出水期に限らず、被害をもたらしております台風・豪雨災害においては、6月初旬の台風2号により、市内各所で倒木、道路冠水、土砂の流出など116箇所の被害をもたらしました。今後、9月10月と、まだ台風シーズンは続きますが、引き続き平時から備えてまいります。

（総合防災訓練）

昨日9月3日には、本市と静岡県、浜松市の共催による令和5年度静岡県総合防災訓練が開催されました。議員の皆様におかれましても、各地区での訓練へのご参加、また、円滑な進行にご協力いただき、ありがとうございました。

総合防災訓練は、本市において平成12年以来23年ぶりの開催となりました。メイン会場の湖西運動公園を始めとする市内各地で、ヘリコプター・物資受入訓練、救護所・救護病院の開設、遺体安置所の開設、避難所開設等、本番さながらの緊迫した訓練が実施されました。またPEVEなど地元企業の協力もいただき、FCEV（燃料電池自動車）のMIRAIから、医療機器に対応したリチウムイオン蓄電池へ給電するといった、先進的な取組も行われました。地域住民、企業団体等の皆様に大規模地震の被害の状況や自助・共助の認識を深めていただき、防災関係者と市、また、住民の皆様同士の「顔の見える関係」の構築にも繋がった訓練だったと感じています。

（地域の賑わい おいでん祭）

新型コロナウイルス感染症の、5類への移行に伴い、4年ぶりに行われた遠州新居手筒花火をはじめ、各地区で夏まつり、盆踊りが開催され、子供たちの元気な姿、地域の皆様の笑顔が見られ、徐々にではありますが、地域に賑わいが戻ってきたと実感しています。

湖西市の夏の一大イベントであるおいでん祭ですが、今年は、熱中症への配慮等から時期を変更させていただき、9月16日（土）に「第28回湖西

おいでん祭」をボートレース浜名湖対岸駐車場にて開催いたします。当日は、市民総踊り、ステージイベント、遠州新居手筒花火の披露、三遠ネオフェニックスや静岡ブルーレヴズによる体験イベント他、子どもから大人まで楽しめる「飲食」や「お楽しみブース」出店等、市内外の方々に、見て・参加して楽しんでいただけるおいでん祭にしたいと考えております。

（バッテリーパーク整備、バッテリーロード開通）

さて、昨年4月に命名されたKOSAI バッテリーパークも、通るたびにまちの姿を変えており、これから新たなBEV工場の工事も着工される予定であり、プライムアースEV エナジー、トヨタ自動車はじめ市内に国内有数の車載用電池の一大生産拠点が形成されつつあります。

この事業は、令和元年度に土地区画整理事業の都市計画が決定され、令和2年度に「浜名湖西岸土地区画整理事業」として事業の認可を受けスタートし、地域の皆様、また、関連企業をはじめ地元企業の皆様のご理解をいただきながら、スピード感を持って進めてまいりました。

9月30日には、国道1号浜名バイパスの大倉戸ICから南北に亘り、物流・人流の新たなアクセス道として、KOSAI バッテリーロードが開通します。当日は、開通前の道路の自由散策、プライムアースEV エナジーの新工場見学、手筒花火の披露等が企画されています。人や車の流れが変わり、職住近接の推進にも繋がるよう、引き続き前向きに進めてまいります。

（持続可能な未来へ、ゼロカーボンシティ）

また、電動化（EV化）が進む自動車産業を中心に製造業が基幹産業である本市にとり、カーボンニュートラルへの取組は行政としての重要な責務です。CO2削減等に向けた具体的なロードマップである「地球温暖化対策地方公共団体実行計画（区域施策編）」の令和5年度内の策定に向け、市民や企業、学識経験者の方々による「湖西市ゼロカーボンシティ推進協議会」において、引き続き建設的かつ前向きなご提案やご議論を頂いているところです。

その中で、市内中小企業者等のカーボンニュートラルを推進するため、「金融機関との相互協力及び連携に関する協定」を、8月3日、県内外の5つの金融機関（（株）しずおかフィナンシャルグループ、浜松磐田信用金庫、遠州信用金庫、豊橋信用金庫、蒲郡信用金庫）と締結させていただ

きました。具体的な支援策として、補正予算にも計上させて頂いた、CO2排出量の見える化の推進に係る支援や ESG 投資の促進、省エネ設備投資への利子補給等により、一体となってゼロカーボンシティを推進してまいります。

（次世代を担う子どもたちの活躍）

夏休みには、今年、初めての取組として市内小学生による「1日市長体験」を実施しました。委嘱式、警察署や消防・病院での施設見学や体験活動、お昼は地元産の野菜や湖西ポークのお弁当、午後の記者会見では「私が市長になったら」の意見発表と報道各社との質疑応答。最初は緊張気味でも、後半は伸び伸びと自分の考えを述べたり、カメラに手を振ってくれたり、子ども達の精力的な活動・活躍する姿が伺え、非常に頼もしく思える機会でした。夏休みの楽しい思い出とともに、郷土愛や未来のまちづくりに親しみを持っていただけたら幸いです。

スポーツの分野では、夏の甲子園大会で、地元新居から浜松開誠館高校のエースとして近藤投手がチームをけん引し、子どもたちに夢を、市民に希望を与えていただきました。その他にも空手、陸上、水泳、柔道、卓球、テニス、バドミントン等々、日頃の練習の成果を大舞台でいかんなく発揮し、全国優勝、上位入賞等、市民に元気をいただきました。

（むすび）

8月末に、県の砂防協会の用務で、富山県・立山砂防の現場に、県内の首長や県職員の方々と訪れました。砂防堰堤の一角に、幸田文さんの「崩れ」の石碑が建立され「これが崩壊というものの本源の姿かな、と動じたほど圧迫感があった（略）」と刻まれており、首長からは「生きた教科書だ」との声も上がっていました。江戸末期から続く、日本最大の崩れとの闘いの歴史の一端を垣間見させていただき、規模は違っても、河川氾濫や土砂災害の頻発する昨今、平時から緊張感を持って取り組まなければいけないと、再認識させていただきました。

さて、本定例会に提案させていただきます案件は、補正予算、決算認定など合計 23 件です。皆様方におかれましては、引き続き、「職住近接」の推進による湖西市の持続可能な発展に向け、建設的かつ前向きなご提案やご議論をお願いし、私のあいさつとさせていただきます。

ありがとうございました。

（以 上）